

氏名

当社は、実際総合原価計算を適用しているが、製造間接費については、製品生産量を配賦基準として、年間を通じて正常配賦している。次の資料にもとづいて、以下の問に答えなさい。

【資料】

- 製造間接費の年間予算は、変動費が 19,200,000 円、固定費が 28,800,000 円であり、年間の正常生産量は 24,000 kg である。
- 製造間接費の当月配賦差額は、当月の売上原価に賦課する。
- 直接材料費と直接労務費は、すべて変動費である。
- 製品の倉出単価の計算は先入先出法による。
- 当月の生産・販売量

月初仕掛品量	0 kg	月初製品在庫量	600 kg
当月投入量	1,900 kg	当月完成量	1,900 kg
月末仕掛品量	0 kg	月末製品在庫量	500 kg
当月完成品量	1,900 kg	当月販売量	2,000 kg

- 当月の財務データ

- (1) 月初製品棚卸高 ;

直接材料費 1,140,000 円、 直接労務費 570,000 円、 製造間接費配賦額 ?

- (2) 直接材料費 ;

月初有高 550,000 円、 当月仕入高 3,600,000 円、 月末有高 350,000 円

- (3) 直接工賃金 (消費額はすべて直接労務費) ;

月初未払高 520,000 円、 当月支払高 2,000,000 円、 月末未払高 420,000 円

- (4) 製造間接費当月実際発生額 ;

変動製造間接費 1,500,000 円、 固定製造間接費 2,400,000 円

- (5) 販売単価 ; 10,000 円

- (6) 販売費及び一般管理費 ;

変動販売費 600,000 円、 固定販売費 1,500,000 円、 固定一般管理費 2,200,000 円

- 問 1 直接原価計算の売上高を計算しなさい。

円

- 問 2 (1) 全部原価計算の原価差異と (2) 直接原価計算の原価差異を計算しなさい。不利差異の場合は、金額の前に△を付すこと。

(1)	円
-----	---

(2)	円
-----	---

- 問 3 (1) 全部原価計算の営業利益と (2) 直接原価計算の営業利益を計算しなさい。

(1)	円
-----	---

(2)	円
-----	---